

チャイルドヘルプラインMIEチャリティー映画  
主催：(特)こどもサポート鈴鹿

教育は 子どもから出発するもの  
そんな「当たり前」を  
この学校は  
思い出させてくれる

# あこがれの空の下

～教科書のない小学校の一年～

語り：高橋恵子 音楽：岩代太郎

監督：増田 浩 房 満満 撮影：岡本 央 編集：森崎 荘三 音響効果：鈴木利之 プロデューサー：矢島良彰

制作協力：和光小学校 製作：テムジン  配給：バンドラ 

2020年 | 日本 | 101分 | DCP-Blue-ray | ドキュメンタリー © テムジン



<http://子どもが教育の主人公.jp/#/>

# あこがれの空の下

～教科書のない小学校の一年～

行きたかった！

行きたい！

行かせたい！

……そんな素敵な小学校がありました

東京・世田谷の和光小学校

何と、教科書は使いません

授業も学校生活も、すべて手作り

子どもたちの伸びゆく力を信じ

自主性を何よりも大切に

何でも話し合う……

未来を変える希望が見えて来ます

ユニークな学校の一年間を追った

ドキュメンタリー映画です



私たちは、生きる力につながる学力を育てたいと思っています。〈生きる力〉とは、「競争」を前提とする社会に適応する力ではなく、子ども自身が学習や生活、社会に主体的に関わる力だと考えています。

—— 北山ひと美(和光小学校 校長)

アクティブ・ラーニングによって授業とカリキュラムの見直しが進められている現在、子どもの創造性と子どもから学び続ける教師の創意を映像で開示したこの記録を、一人でも多くの教師と保護者に鑑賞していただきたいと願っています。

—— 佐藤 学(学習院大学特任教授/東京大学名誉教授)

今から約40年前に卒業した和光小学校が、今も「答えのない疑問」に挑み続けている姿に、胸が熱くなりました。ひとりでも多くの方々、とくに「和光小学校」をご存知ない方々に、ご覧いただきたいと心から願っております。

—— 岩代太郎(作曲家)

先生達の熱心さも伸びやかな子ども達の姿も手に取るように伝わってきました。命令されてではなく、「今なにをすべきなのか」自分で考えて行動する。思いやりや責任感はそうした中から育まれるのでしょう。子ども達を尊重する教育が、これからの豊かな世の中を創っていく事を期待しています。

—— 高橋恵子(俳優)

チャイルドヘルプラインMIE チャリティー映画会 (収益はチャイルドヘルプラインMIEに寄付します。)

1月30日(日) 鈴鹿市文化会館 けやきホール

①10:30~12:00 ②13:30~15:00

(開場は30分前) ①のみ未就学児入場可

参加費 大人1200円・子ども800円(小学1年生~18歳まで)

(当日大人1,500円・18歳まで1,000円)

主催・申し込み問合せ (特)こどもサポート鈴鹿

鈴鹿市桜島町6丁目20-3 TEL 059-383-1322

※ 新型コロナウイルスの感染拡大状況により延期または中止、参加をご遠慮いただく場合があります。

当日は、来場時必ずマスクの着用、手指消毒、検温、健康調査票の提出をお願いします。発熱や風邪症状(のどの痛み、倦怠感、息苦しさ)や味覚・臭覚異常がみられる方は参加できません。